

HEART CROSS

ハートクロス
芳賀赤十字病院だより

vol.5 2017
January



新型インフルエンザ発生時を想定し、訓練！



特集

新年のご挨拶

安田 是和 病院長



- ～地域と顔の見える地域医療連携を目指して～ 登録医大会
- ～地域とつながる～ 登録医情報 岡田・小松崎クリニック (真岡市)
小峰歯科医院 (市貝町)

Topics.....

Information.....

医療安全推進月間 ー各種取り組み実施ー
新型インフルエンザ発生時想定訓練に参加
患者さんへ歌声をプレゼント! クリスマスコンサート

芳賀日赤市民公開講座のお知らせ



特集

新年のご挨拶

芳賀赤十字病院 病院長
安田 是和

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな正月を迎えられた事と思えます。

さて、昨年は「第54回日本赤十字社東部ブロック体育大会」など多くの赤十字関連の会合を当院が主催し、また、懸案の回復期リハビリ病棟を無事開設することができました。関係の方々には、心から御礼を申し上げます。

年末には日本赤十字社において当院移転新築の工事契約が行われ、2月7日(火)に起工式を行う運びとなりました。翌日の2月8日(水)から病院建設工事が開始されることとなります。工期は22ヶ月ですので、平成30年年末には新病院が完成する予定です。今まで具体的なスケジュールをお示しすることができませんでしたが、今後の目標がはっきりしたことは、患者さん、地域の方々は勿論、病院職員にとりまして大きな力になると期待しています。

新しい病院が建設される事にはいくつかの意義があります。まず第一に、現在の病院の良さと欠点を再認識したいと思えます。古い建物は多くの制限や無駄があり、患者さんにとっては必ずしも快適ではありませんが、これを忘れることなく新病院への工夫につなげていきたいと考えています。第二に、芳賀地区の医療状況の将来を十分考え、当院で何をすべきか、どうあるべきかを考える必要があります。具体的には急速に増加する医療需要と、今後の日本全体の人口減少にどのように準備をし、疾病構造や年齢の変化にどのような医療を提供すべきか、を考える必要があります。第三に、病院が新しくなっても、これを運営するのはわれわれ職員であるという自覚を持ち、今後の病院運営を全員で担っていく覚悟です。新しい病院が完成しても、私達自身が変わらなければ病院の移転・新築の意味はありません。

世界的テニスプレーヤー錦織 圭選手のコーチであるマイケル・チャン氏の"Believe yourself"という言葉があります。この精神を、今年も持ち続けたいと思っています。人を信じ自分を信じてお互いの信頼が生まれ、これからの新病院に向けて全職員が一体となって前進することができます。言うは易く実行は難しい課題ではありますが、職種間、職場間の風通しを更に良くし、職員が互いに信頼できる組織を目指してまいります。

新病院建設という具体的目標ができた一方、芳賀赤十字病院へは厳しい社会的課題が与えられた年でもあり、身の引き締まる思いです。多くの患者さん、職員の笑顔の多い病院を目指し、地域に貢献できる病院になることを願い、新年のご挨拶と致します。

平成29年元旦

～顔の見える地域医療連携を目指して～

登録医大会を開催

11月10日(木)、「平成28年度 芳賀赤十字病院登録医大会」を開催。当院との地域医療連携に支援いただいている約70名の登録医の先生方に参加いただきました。



大会では、栃木県東健康福祉センター・大原所長に「地域医療構想」と題し、今後の県東保健医療圏(芳賀地域)について講義いただいたほか、登録医の先生方と当院の医師・看護師、メディカルスタッフによる意見交換を行いました。参加者からは、「さまざまな職種の方と情報交換し、有意義な時間を過ごせた」、「懇親を深めることができた」といった感想が寄せられました。

今後も、芳賀赤十字病院は登録医の先生方とともに「顔と顔の見える連携」づくりをめざし、地域医療連携を推進してまいります。

芳賀赤十字病院をもっと知ろう!! 「第8回 芳賀日赤ふれあいDAY」を開催

10月15日(土)、地域の方々との交流を通し、赤十字活動への理解を深めるとともに、芳賀赤十字病院についてもっと知っていただくことを目的として、「第8回 芳賀日赤ふれあいDAY」を開催しました。

会場では、今回初めて災害時に利用する赤十字の救護所(大型エアテント)を展示したほか、体脂肪測定や骨密度測定などの健康チェックコーナー、救急法などの赤十字講習受講体験、地域の高校生を対象に院内見学ツアーを実施。フードコーナーではフルーツやチョコバナナを提供し、多くの方に利用いただきました。売上金は、熊本地震災害義援金等に寄付する予定です。

総合案内では、お楽しみ抽選会や子どもたちが救護服やナース服の着用体験できるちびっ子写真撮影が実施され、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層の方々を楽しみました。

救護所(エアテント)内部のようす



院内見学ツアー



会場のようす



赤十字講習会
(幼児安全法)コーナー



認知症疾患医療センターのご案内

芳賀赤十字病院は、平成28年11月1日付で「認知症疾患医療センター」に指定されました。認知症の鑑別診断や身体合併症、その他周辺症状に対する急性期医療、専門医療相談等を実施する役割を担います。また、認知症への理解を深めるため普及・啓発を推進します。

地域の医療機関や行政・福祉など関係機関等と連携を図り、認知症の患者さんやご家族が地域で安心して生活できるよう、活動していきます。

<問合せ先> 芳賀赤十字病院 認知症疾患医療センター
電話番号：0285-81-3856



～地域とつながる～

登録医情報

地域の先生方は、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、地域医療連携を進めることができます。

今号は、岡田・小松崎クリニック(真岡市)と、小峰歯科医院(市貝町)をご紹介します。



〈小松崎 一則院長(最前列左)よりメッセージ〉

時間外でもできるだけ対応するように、心がけています。

(最前列右：小松崎 和子副院長)

岡田・小松崎クリニック (真岡市)

〈対象疾患〉 一般小児科、内科疾患、妊婦健診、分娩、婦人科疾患

● 当院との地域連携について、どのように考えていますか？

通常の一般紹介患者さんは多数お世話になっていますが、特に助かっているのは、産科・小児科患者さんの救急受入です。時間外であっても対応していただき、感謝しております。さらに、紹介後、病院内における他科との連携もスムーズに行われ、的確な診断・治療をしていただいています。

● 地域の方々へのメッセージ

先日、7年ぶりに子宮がん検診にこられた方に、子宮がんが見つかりました。気軽に定期的に、がん検診を受けてください。

基本情報

- 院長：小松崎 一則
- 副院長：小松崎 和子
- 住所：栃木県真岡市大谷本町7-17
- TEL：0285-84-1941
- 診療科目：内科、小児科、産婦人科
- 休診日：木曜日(午後)、日曜日、祝日



〈小峰信広院長(最左)よりメッセージ〉

小峰歯科医院は、明るく優しいスタッフがそろっておりますので、気軽にお声かけください。

小峰歯科医院 (市貝町)

〈対象疾患〉 歯科疾患

〈得意分野〉 保存治療

● 当院との地域連携について、どのように考えていますか？

芳賀赤十字病院と連携を取らせていただいて、特に口腔外科の岡田先生には、かなりの数の患者様を紹介させていただき、密接な関係をとりさせていただいております。今後、基礎疾患、高齢等ハイリスクの患者さんが増加する中、他科との緊密な医療連携が必要となると思います。

● 地域の方々へのメッセージ

歯科治療は怖いというイメージがあり、通院するのが億劫になってしまいます。悪化する前に、かかりつけ医を持って定期健診を受診する習慣を身につけると、いやな思いもせず早期発見・早期治療ができます。一生、自分の歯でかむようにしましょう。

基本情報

- 院長：小峰 信広
- 住所：栃木県芳賀郡市貝町文谷370
- TEL：0285-68-4182
- 診療科目：歯科、矯正歯科、小児歯科
- 休診日：木曜日、日曜日、祝日



Topics

11月は、医療安全推進月間～講演会開催のほか、各種取り組みを展開～

厚生労働省による「医療安全推進週間(毎年11月25日を含む1週間)」に合わせ、医療安全に対する意識啓蒙を図るため、11月を医療安全推進月間とする取り組みを行いました。月間中、職員は名札に“医療安全推進月間”と表記した札を着用して勤務。また、院内各部署応募による「医療安全推進ポスター」を掲示し、来院者等の投票により優秀作品が選ばれました。

このほか、職員対象の医療安全講演会2回にわたり開催。講演1『医療事故から学んだ教訓』では、医療事故発生時の医療従事者の対応方法や医療事故被害者の訴えを傾聴することの重要性を学びました。また、講演2『診療録記載の重要性』では、水澤亜紀子弁護士が、医療従事者の診療録の正しい記載法とその重要性について話し、多くの受講者が講義に聞き入りました。



医療安全推進月間ポスター掲示のようす

安心
安全

新型インフルエンザ発生時想定訓練～他機関と合同実施～

11月11日(金)、県東保健医療圏内での新型インフルエンザ感染患者の発生を想定し、栃木県災害対策本部(災害対策本部長：栃木県知事)を中心に、県東健康福祉センター・芳賀地区広域行政組合等が参加する大規模な「新型インフルエンザ発生時想定訓練」が実施されました。

当院は、新型インフルエンザ感染が疑われる患者が、帰国者・接触者外来から救急搬送される“第2種感染症指定医療機関”として参加。感染防止のため防護服を着用した担当医師らが、院内の患者搬送動線ルートを確認しながら、救急搬送された患者を感染症病床へ受け入れる役割を担いました。



救急隊から、患者を受け入れるようす



患者さんたちへ歌声をプレゼント!

～クリスマスコンサートを開催～

12月17日(土)、入院患者さんたちの回復を願い、「院内クリスマスコンサート」を開催しました。コンサートでは、真岡女子高等学校合唱部の皆さんが、「ジングルベル」「White Christmas」などクリスマスソング数曲を合唱。また、当院職員有志による芳賀赤十字病院聖歌隊は、「糸」「歩いて帰ろう」を合唱したほか、「瑠璃色の地球」を演奏披露しました。

会場には多くの方が来場し、曲に合わせて口ずさんだり、美しい音色に聞き入る姿が見られました。皆さんが素敵なひとときを過ごせることを祈って、メリークリスマス!



芳賀赤十字病院聖歌隊

勤務終了後の練習を重ね、歌声を披露。



真岡女子高等学校合唱部の皆さん

美しい歌声で会場を盛り上げてくれました!

Information

<芳賀日赤市民公開講座のお知らせ>「糖尿病」をテーマに芳賀町、市貝町で開催

地域住民の皆さんを対象に「芳賀日赤市民公開講座」を、1月19日(木)芳賀町、2月2日(木)市貝町で開催します。

国際医療福祉大学 岡田 耕治特任教授が、「糖尿病」について健康講話を行います。また、地域医療連携講話では、芳賀赤十字病院 安田 是和病院長が「芳賀地域におけるがん診療連携」について講演します。ぜひ、ご参加ください。

<開催日時等> 芳賀町 平成29年1月19日(木) 14:00~16:00
会場:芳賀町農業者トレーニングセンター

市貝町 平成29年2月2日(木) 14:00~16:00
会場:市貝町役場多目的ホール

<内 容> 講演1:健康講話
『糖尿病についての正しい知識』
講師:国際医療福祉大学 岡田 耕治特任教授

講演2:地域医療連携講話

『芳賀地域におけるがん診療連携』

講師:芳賀赤十字病院 安田 是和病院長

<問 合 せ> 地域医療連携室 Tel 0285-82-2195 (代表)



新任 医師紹介

●氏名

①役職 ②出身地 ③ひとこと
の順に掲載

平成28年10月に就任した医師を紹介

Profile

ありま せいご
有馬 生悟



①循環器内科医師
②大阪府

③はじめまして。2016年10月より勤務しております。有馬生悟と申します。芳賀地区の医療に貢献できるように、頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

Profile

いゆした あゆみ
岩下 あゆみ



①第一産婦人科医師
②茨城県古河市

③この病院でしかできないことをどんどん吸収して、ひと回り成長していきたいと思えます。一年半という期間限定ですが、よろしくお願いたします。

表紙紹介

読者の方に「読みたい!」と手に取ってもらえるよう、表紙は当院の行事などで撮影した「イチ押しの1枚!」を掲載しています。

新型インフルエンザ発生時想定訓練に備え、事前に関係機関が集合し、想定事案に基づいたシミュレーションを実施。当院からは、ICT(感染対策チーム)を中心に同訓練に参加しました。

院内および医療従事者の感染予防のため、訓練参加者たちは個人防護具を安全に使用するための着脱手順・方法を確認。防護服を着用後、ばく露している箇所の有無、など互いに入念にチェックしていました。



防護服着脱手順を確認。

芳賀赤十字病院の理念及び基本方針

<理 念> 地域に貢献する病院

<基本方針>

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献



芳賀赤十字病院

日本赤十字社
Nippon Red Cross Society

〒321-4306 栃木県真岡市台町 2461
TEL 0285-82-2195 (代) FAX 0285-84-3332 <http://www.haga.jrc.or.jp/>

詳しくは 芳賀赤十字病院公式 HP <http://www.haga.jrc.or.jp>

f 芳賀赤十字病院公式 facebook

どちらも「芳賀赤十字病院」で検索

芳賀赤十字病院

検索



編集協力/榎松井ピ・テ・オ・印刷